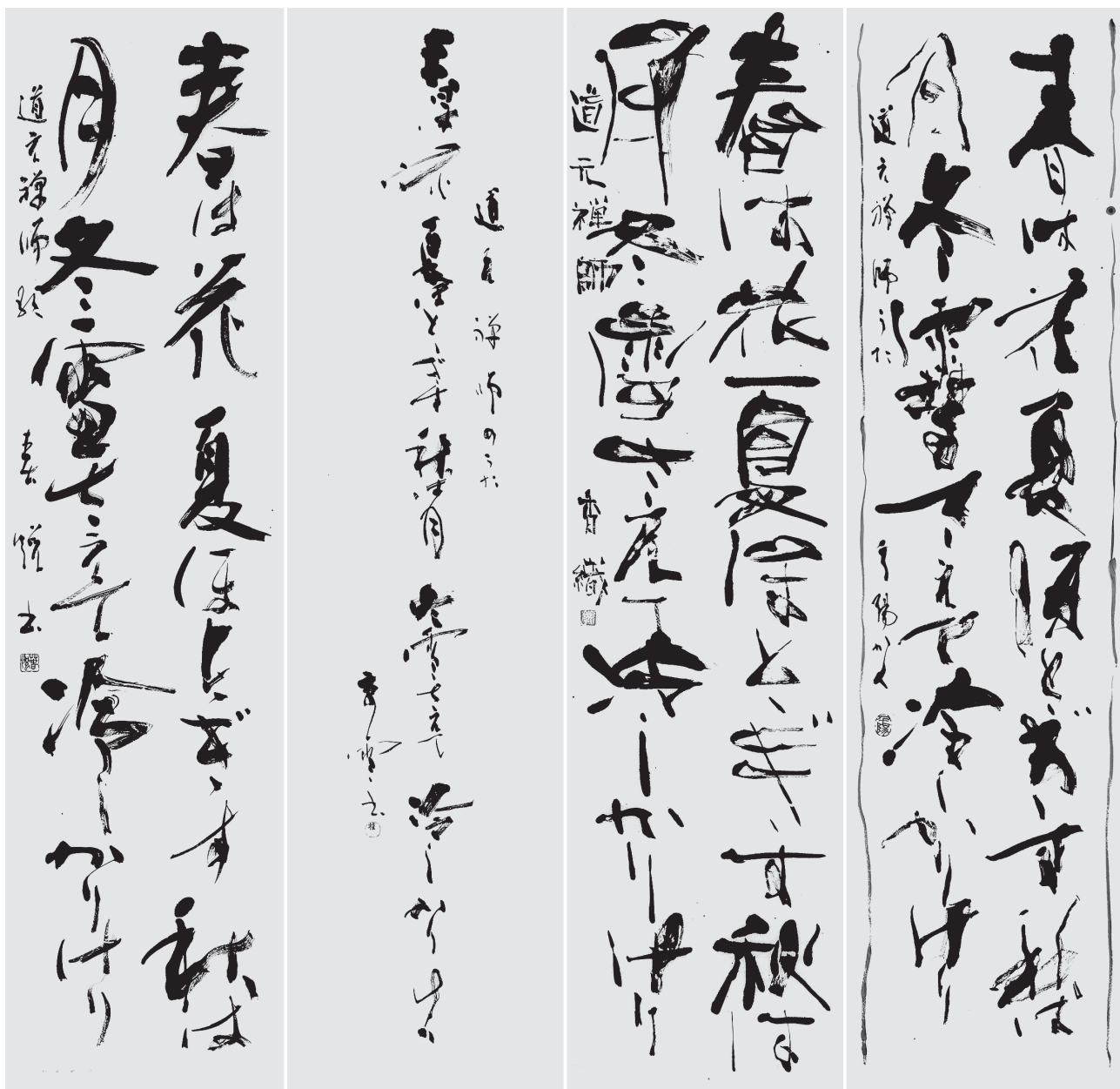


伊藤漠仙先生選評

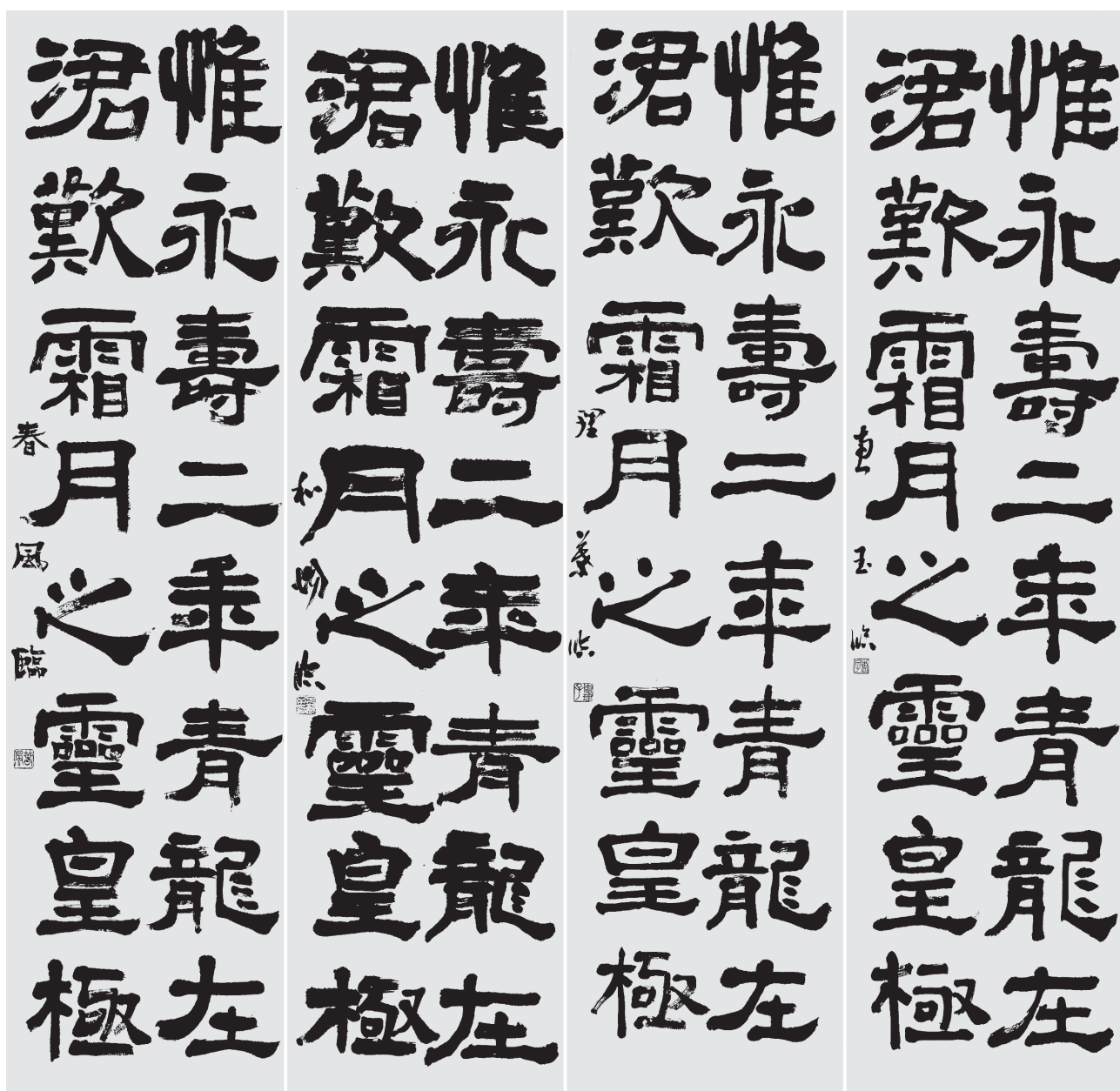


坂本千陽 推選
一見して全体の纏め方、章法の素晴らしさがわかります。肉厚な線と細線が上手く調和していて、自分の世界を創り出しています。白眉な作品です。

鯨井香織 推選
隸意のある漢字と仮名の見事なバランスに目を奪われます。潤渾の変化も自然で落款に至るまで一貫性のある作品で、申し分ありません。

柴山京雪 推選
一行書きにして小さく全体を纏めた書きぶりは、品格のある立派な作品です。メリハリのある縦への筆脈は生き生きと連筆していて、空間の処理も抜群です。

数井春悦 推選
参考作品に近い書き方ですが、横への送筆等、伸びやかで肥瘦の変化もあり、力まない自然な筆意が素敵です。この作も全体の配置が巧みで上品です。



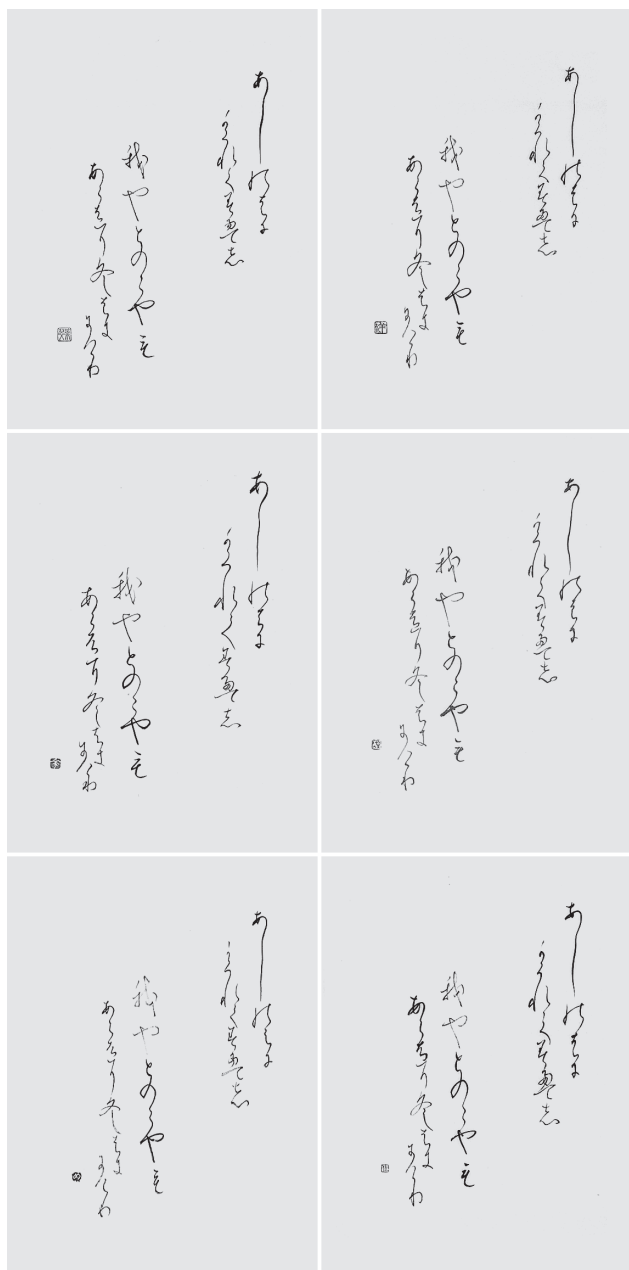
野田恵玉 推選
丁寧な運筆から優しい線が
たくさん生まれて、とても
いい気持ちになります。字形
の細部や線質もよく研究さ
れていて、古典臨書の基本
を忠実に守って仕上げた。

坂元理葉 推選
それぞれの線がいろいろな
種類でありながら、安定感
がある。長い横画の藏鋒が
しつかりと紙面に食い込み
強い線を作り出したことに
より、余白を引き締めた。

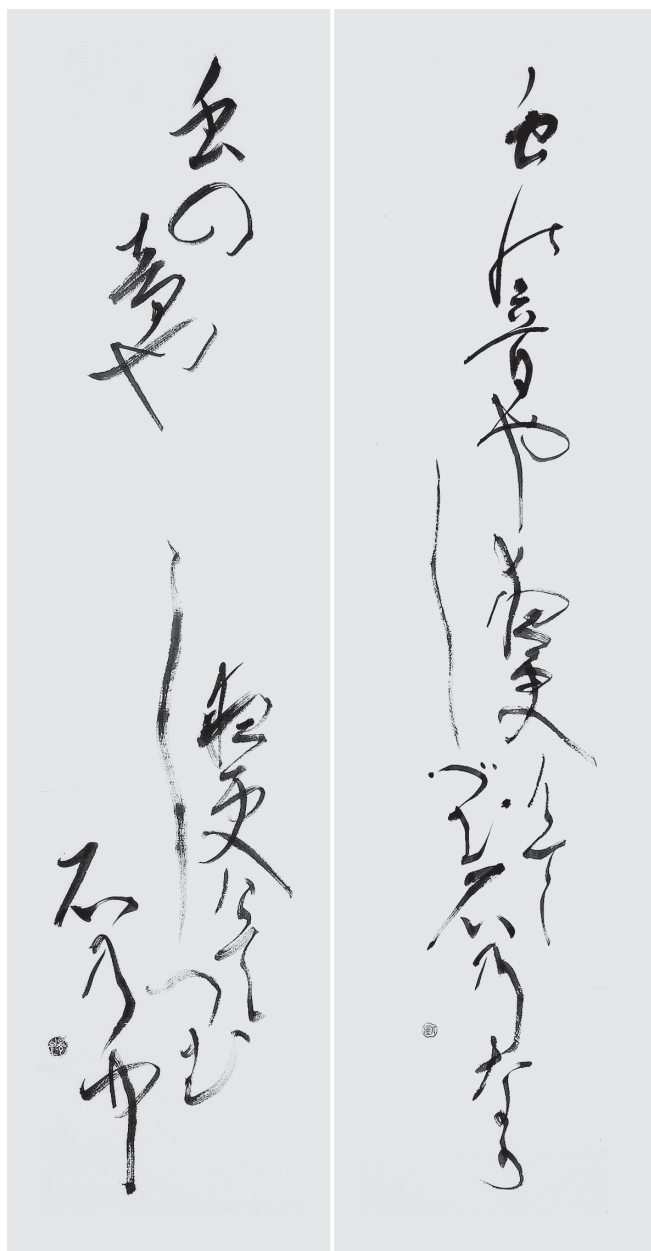
菊池和暢 推選
太線を多くし、黒を強く主
張しているが、爽快な印象
を受けます。紙面が重くな
らないように腕や指の力を
抜き、軽やかに動いて引い
た横画が技巧の高さの証明。

村上春風 推選
真面目に古典を研究されて
いる。文字内の空間の作り
方、行間と字間の空け方な
ど、白との調和が見事で臨
書であっても創作としての
魅力をたっぷり持っている。

露崎桂子先生選評



佐賀道子先生選評



鳥海葉翠 準七
のびやかな堂々とした運筆で、二行目に自然に繋がっています。もう少し潤渇の変化が出ると、表情豊かで趣深い作に。印はやや小さめに。

牧野華耀 六段
優しくさらりとした筆致が、明るく爽やかな作にしています。時々、直線的な線条が見られ惜しい。二行目と三行目との行間を一考を。

藤澤めぐみ 準六
お手本を忠実に捉えています。潤渇の変化は美しい。一行目の墨量の加減に留意すると強さが加わり、更に印象深い作になるでしょう。

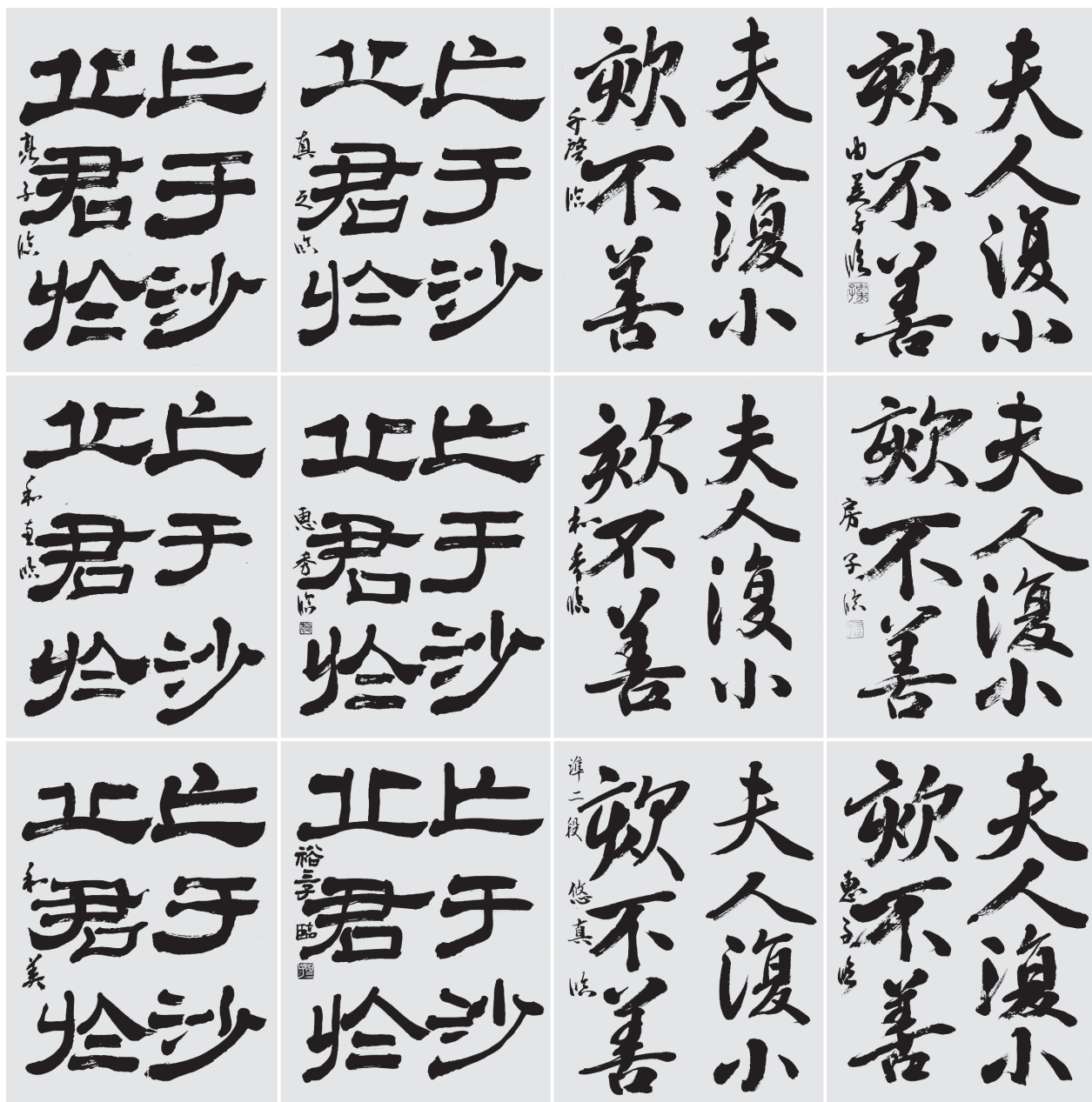
蜂須賀穂洋 師範
お手本をよく捉えています。呼吸がびつたりと合っていて見事。原帖の特徴であるリズムミカルな運筆が途切れることなく続き爽快な趣の作です。

平田煌零 師範
のびやかな線条で明るい作。やや抑揚に富んだ運筆と今少しの墨色の濃さが加わると、更に立体感のある魅力作に。次の作品に期待しています。

下村佳風 八段
大らかな線質でリズムカルに筆が進み、自然な流れに纏められています。潤渇の変化も美しく、濃墨の筆線が映え、すっきりしながら存在感あり。

久世晃子 推選
運腕大きく心意気に溢れた筆致。打楽器的な強い響きが魅力的。上段の文字は大きすぎましたね。控えめに書くとバランスのよい調べを奏でることでしょう。

中野八重子 推選
深い呼吸でつましやかな佇まい。揺らぎ合う文字の流れの中で、凛とした筆線が光っています。沈潜の響きと「間」の美しさに魅せられます。



前田由美子 師範
達者な筆致で完成度の高い作。特に流麗で統一性のある線質と字形は見事。流石は師範の臨書で、安心して見ていられると共に説得力がある。

住吉房子 師範
柔毛筆を巧みに用いた明るく暢びやかな線、飛白を含んだ立体感のある豊かな表情の渴筆。それらが渾然一体となり作品に眩しい輝きがある。

堀井恵子 準八
墨量が豊かな量感のある豊潤な趣を表現。紙面に落ち着いた中にも躍動した筆遣いが心地良い。しかも筆捌きが巧緻で素晴らしい。快作です。

足立千啓 六段
清楚で清廉な作風が基調の作。端正な筆致と相俟って品格がある。さりげない筆の上下動抑揚も魅力。落款は「不善」の間に入れても良かった。

木下和香奈 準三
穏やかで温雅な味わい。清澄な自然体で上品に纏まっている。その真摯な取り組みに好感が持てる。今後は墨量の変化や渴筆にも注目。

山本悠真 準二
筆先の良く効いた筆を駆使して明るく悠揚さを感じさせる作品。特に余白が冴えて目を惹く。また紙面を無尽に伸びた線が軽快ですがすがしい。

福田真之 師範
細線を主体とした穏やかな作品。「君」の字形の捉え方やきりつとした波礫に鋭い観察眼が働いており感服。運筆のスピードの変化を望む。

小川恵秀 師範
じっくりと沈潜した筆運びから生まれる情感のこもった線に練度の高さを感ずる作品。粘り強さと適勁さが融け合った見事な充実作。

高橋裕三子 八段
隷書の重要な特徴である横画の横への伸び、この作実に見事に表現している。字間の素晴らしき取り方と合わせて余白が至極美しい。

石川亮子 準八
温かく粘り強い表現で多彩な深い趣を感じさせる作。特に「沙」の書きぶりから礼器以外の影響が見えるが、創意工夫に繋がるものと評価したい。

太田和恵 準五
明るく澄みわたった展開は俗気がなく、さっぱりとして垢抜けている。章法も素晴らしく特に字間が広大な空間を表出して実に美しい。

伊堂寺和美 準四
羊毫筆を駆使した活き活きとした豊かな表現に心惹かれる。濃墨で豊かな墨量、筆の弾力を生かした張りのある線等々、魅力に溢れた秀作。